

平城東公民館だより

令和5年
4月
春号

発行 2023年 3月31日
発行責任者 泉森由貴

熟成のまち

館長

いずもり よしたか
泉森 由貴

朝早くベビーカーに手を添えて日傘を差す若い女性がバスを待っています。ハットを被った老紳士が腰をかがめて赤ちゃんに話しかけます。冗談を言ったのか笑い合う二人。ふわっとした空気に和みます。

夕方には、大きな袋に図工作品を入れた小学生が家路につく前に見守りの大人に自慢げに大作を披露しています。褒められたのか照れくさそうに走って行きました。フロントガラス越しに見るこのまちの日常はとても柔らかく、優しいものです。でもそれは昨日今日に作られたものではなく長い時間をかけて洗練されてきたものだと思います。

ちまたに溢れるアンチエイジングの文字。年を重ねるといことは元氣や活気を失うものでしょうか。このまちはそうではありません。ワインやチーズのようにエイジングによって価値を高めてきま

した。そしてこれからも長く永く熟成されていくものだと思います。まちはただ家々の集合体ではなく、人の思いが集まって長年かけて変化を繰り返してきたかたちだと感じています。

人の手によってまちはつくられ、そしてまちによって人は育まれるものです。ここに住む私たちは、まちが形作る社会がどんなに素晴らしいかを知っています。このまちで生まれ育った子どもたちにとってかけがえのない故郷。大人たちが地域を大切に作る姿勢を見せることで地元が好きになる子どもが増えるはずですよ。

公民館はそんな地域がつながる交わりの場であり、地域愛を熟成する、エイジングの場であることを願っています。

アフターコロナの世界をみつめて、令和5年度も平城東公民館をよろしくお願いいたします。




春から始まる講座のお知らせ

60歳からの体力づくり



春から始める
シニアストレッチ

60歳以上 25人
4月26日～9月27日
(第4水曜日) 
14時～15時半
¥600 (全6回分)
4月18日 (火)×切

平城相楽ニュータウン 50周年

タウンウォーク

まちの案内人



このまちを案内するナビゲーターになってみませんか。

平城東校区の成人 10人
4月13日(木)・27日(木)
5月11日(木)・25日(木)
6月8日(木)(予備日) 全4回
9時半～12時
4月4日 (火)×切

平城東あそび隊

子どもたちに自分の好きを見つけしてほしい。いろんな経験がつまっています。



平城東校区の小学生 25人
5月6日～12月2日
(第1土曜日) 全8回
10時～12時(時間変更の場合あり)
4月21日 (金)×切

子育てを応援します

すくすく 広場

自由入場の子育てひろばです。毎回プチ講座をやります。おもちゃで遊んで地域で仲間をみつけてください。



未就園児と保護者
5月19日 (金)
びっくり箱のかんたん工作
以後は奇数月の第3金曜日
13時～15時
申込不要・自由入場

◇講座の申込方法(①～③のいずれか)
①ホームページより(「まなぶなら」と検索)
②公民館へ往復はがきを郵送 ③63円のはがきをもって窓口へ

「奈良・人と自然の会（ならやまプロジェクト）」を訪ねて

JR平城山駅からほど近くの「ならやま里山林」を活動拠点に、2007年からこの地で環境保全に取り組む「奈良・人と自然の会」を訪ねました。

ならやま大通りから脇道に入り、迷路のような道を抜けると急にどこか懐かしい里山の風景。畑で作業する人たちが薪割りをする人も。焚火から上がる煙が極寒の2月の山間を暖めてすこしほっとします。お話を伺ったのは、会長の千載輝重さん。▼奈良県から「ならやま里山林」の景観整備を任されていると聞きました。どういった経緯で？●当会は2001年にシニア自然大学を卒業した45名が歴史文化散策、自然散策を目的として創立したのですが、その後、環境保全活動に注力するようになり、県の「歴史的風土景観形成事業」に応募、活動状況が認められて任されるようになりました。▼2007年当時、「ならやま」はどのような状態でしたか？



●もともとサイクリングロードが通っていました。雑草が生い茂り、不法投棄のゴミが放置されていました。▼そうですね、今はきれいに整備されて懐かしい里山林がよみがえっているようですね。現在会員は何人？●150人です。活動日は毎週木曜日。参加者数は70人前後です。▼毎週どのような活動をされていますか？●活動は5つのグループ（里山、エコファーム、景観整備、パトロール、果樹）に分かれています。どこかに属する必要はなく、どのグループに参加するかは自由です。また時おり協働活動を行うなど、グループが連携し全体として活動するように心がけています。▼みなさんいきいきと取り組まれていますね。●強制されると続きません。「明るく、たのしく、無理をせず」を心掛けています。環境保全の思いもありつつ、

高齢化が進んでいることもあり、自身の楽しみとして参加されている方が多いと思います。▼みなさんのお顔からとても楽しそうな様子が伝わってきます。今後の課題はありますか？●年々、平均年齢が上がっています。現在74.5歳。小さな力でも思いを共有できれば大きな力として社会に貢献できる。「仲間への尊敬と感謝」を大切にしながらみんなで話し合い、共感できる目標を模索していきたいと思っています。

▼地域活動について教えてください。●地域の小学校の校庭で自然観察の学習支援をしたり、イベントに参加いただいたりしています。中でも、佐保台小学校の5年生には2009年以来14年にわたって毎年田植えから稲刈り・脱穀までの稲作体験学習の場を提供しており、収穫した黒米は同校で給食として供されています。▼シニアの方々が楽しみながら地域に多大な貢献をされていることがわかりました。今日はどうもありがとうございました。

随時、会員募集されています。詳しくはホームページをご覧ください。
URL <http://www.naranature.com>



こんな講座ありました

「SSSプロジェクト」

2022年9月～
2023年2月

公民館と一緒に「地域について考える」企画に企画してみませんか？という呼びかけに、朱雀・左京・佐保台各地区から2名ずつのメンバーが集まってプロジェクトが発足しました。3つの地区の頭文字をとってSSSプロジェクトです。

地域ごとの魅力発信を目指して、カードゲームを通して楽しく参加できるイベントを平城東中学校、朱雀、左京、佐保台、全地区合同の計5回計画しました。イベントでは、地域の人の悩みやつぶやきが書かれた『きいて（カード）』の声を

地域にある『おたから（カード）』を組み合わせて解決するカードゲームで遊び、その後、実際に自分の地域にあるおたからや、自分自身のきいてを手書きのカードにするというプログラムでした。

ご一緒したメンバーの感想をご紹介します。



SSSプロジェクトの一員として企画に参加しました。

みなさんから出てきた「お困りごと」は、地域の差はほとんどなく、年代によって内容が違いました。子供たちは□習い事をする場所がない□友達のこと悩んでいるけど誰に相談したらいい？□高齢の方は□老後が不安だな□近くにスーパーがない□など。

「お宝」は地域のよって違うのです。これがおもしろい。□□が得意なおじさん□登校の見守り隊□□など本当にたくさんできてきました。

僕がこのゲームを通じて気づいたことは2つ。
1…自分たちの知らないところで多くの方がいっぱい汗をかいてくださっているからこそこの環境が維持できているということ。

2…小学生から□□歳くらいの方々までが一つのテーブルでゲームをしている。そのこと自体が地域の何よりも代えがたい「お宝」であるということ。地域愛を育むという目的のもと、このゲームを開催しましたが、地域の素晴らしいところを再確認できる場となりました。また、今後も継続して行っていきます。みなさんが知っている地域の「お宝」ぜひ、教えてください！

〈朱雀 松谷 亮平さん〉

再発見! 愛東平城
さがしお宝のまちでゲーム

佐保台
左京
朱雀